

平成25年度の決算がまとまり、9月には町議会に決算審査特別委員会が設置され、内容が審議されています。

町では、毎年6月と12月に財政状況を公表することになっていますが、今月号では25年度の決算と26年度上半期の予算執行状況をお知らせします。

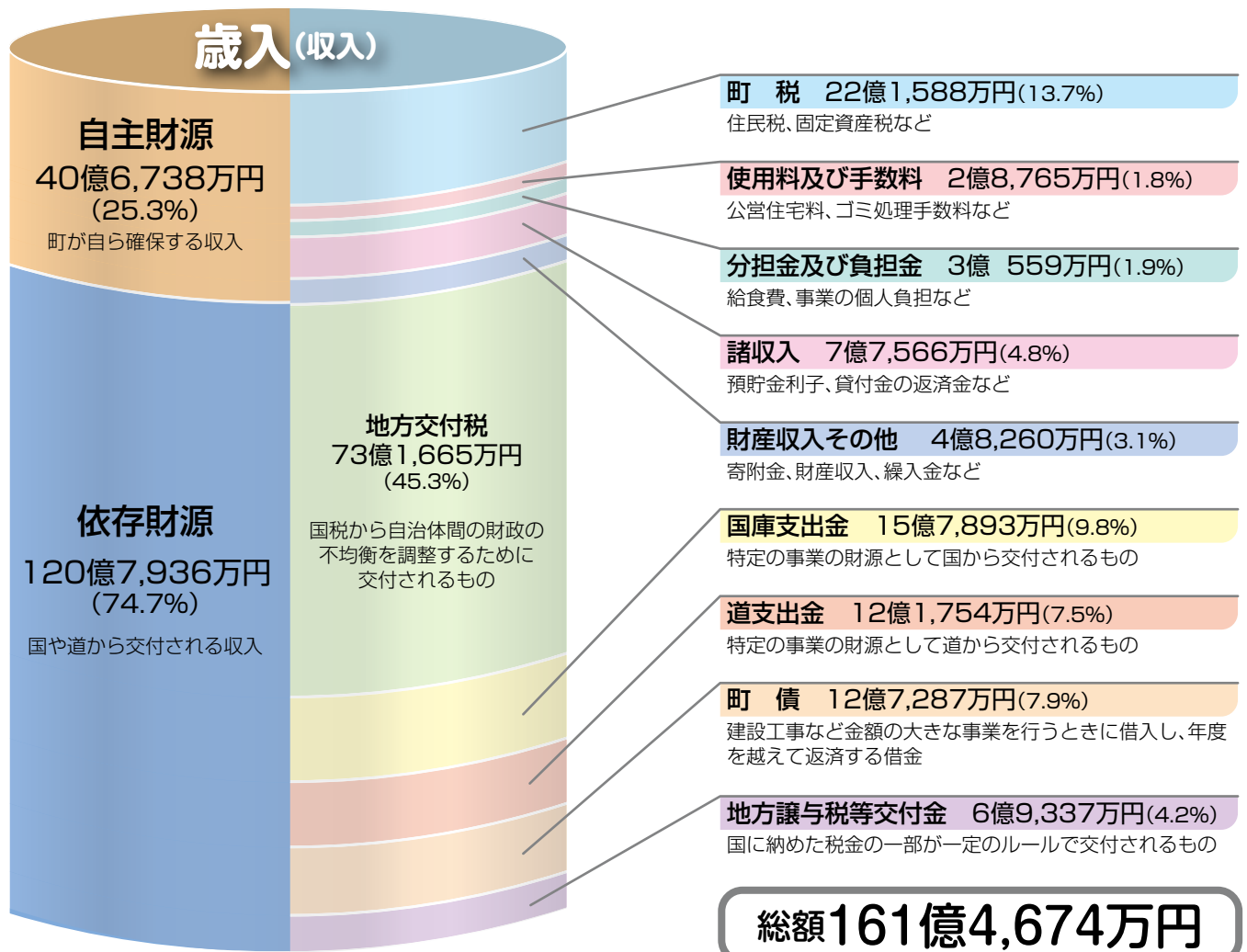
私たちの町の 財政状況

I 平成25年度 一般会計決算状況について

歳入決算状況について

町の財政は、皆さんからの税金や各種手数料などの自主財源と、国から交付される地方交付税などの依存財源で成り立っています。自主財源は、歳入全体の25.3%と低く、このうち最も基本的な収入である町税の割合は全体の13.7%となっています。一方で、依存財源が歳入の大きな割合を占めています。

依存財源の中でも一番多いのが地方交付税です。決算額では73億1,665万円となり、前年度と比較して3,953万円（0.5%）の減となっています。自由に使えるお金である地方交付税は町の財政に大きな影響があります。



財政の状況を表す指標（地方公共団体の財政状況を表す数値です）

健全化判断比率 平成19年度決算から導入された新しい指標で、地方公共団体の総合的な財政状況を示す指標です。

● **実質赤字比率** ー%（黒字3.71%）

標準財政規模に対する一般会計の実質収支赤字の割合を示します。

● **連結実質赤字比率** ー%（黒字36.83%）

標準財政規模に対する町の会計全体での実質収支の割合を示します。

● **実質公債費比率** 13.0%

標準財政規模に対する、借金の返済額（公債費）に加え、公営企業・広域連合・一部事務組合の借金の繰出しを反映させた負担割合を示します。この数値が18%を超えると起債許可団体となり、町債の借入に国の許可が必要となります。

● **将来負担比率** 59.5%

標準財政規模に対する、将来（翌年度以降）第三セクター等への債務の負担を含めた実質的債務の割合を示します。

※標準財政規模 100億7,216万円

標準的な行政活動を行うために必要な経常的な一般財源の総量をいいます。

財政力指数 25.8%（過去3か年の平均）

標準的な支出に対する標準的な収入の割合を示す指数で、100%に近いほど財政力が高いとされています。100%を上回れば地方交付税が交付されない不交付団体となります。

経常収支比率 80.2%

町税や国・道からの交付金などの経常的収入に対する、人件費や施設管理維持経費などの経常的支出の割合で、この数値が低いほど収入に余裕があり財政上の柔軟性があることを示します。

歳出決算状況について……………

平成25年度は主な事業として、町道・農道の整備、中春別福祉館改築、公営住宅整備、地域防災・津波避難計画等作成、農村広場整備、全天候型トラック整備事業等を行いました。

前年度と比較すると、病院会計への繰出金の減により衛生費で1億8,730万円（10.9%）の減となりましたが、中春別福祉館改築等により総務費で2億3,603万円（16.0%）、全天候型トラック整備、少年会館解体撤去事業等により教育費で4億2,088万円（42.9%）の増となり、総額でも6億58万円（4.0%）の増となりました。

衛生費 15億3,231万円(9.8%)

健康づくり、環境対策、病院事業への繰出金などの経費

土木費 15億1,389万円(9.6%)

道路の整備や、公営住宅などの維持管理経費

教育費 14億 162万円(8.9%)

小中学校・幼稚園、図書館・公民館・体育館の運営や整備などの経費

議会費その他 8億4,015万円(5.4%)

議会費、商工業の振興及び観光、労働費、災害復旧費、消防費及び防災関係の経費

総額156億9,719万円

歳出(支出)

総務費 17億 769万円(10.9%)

全体的な管理事務、企画・財政管理、地域センター等の財産などに要する経費

民生費 20億2,602万円(12.9%)

高齢者や障がい者の生活支援、保育園運営など福祉のための経費

農林水産業費 27億1,293万円(17.3%)

農業や林業・水産業の振興、土地改良事業などの経費

公債費 18億4,295万円(11.7%)

町債(借金)返済のための経費

給与費 21億1,963万円(13.5%)

職員への給与のための経費

Ⅱ 平成25年度 特別会計・企業会計決算状況について

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に、そのお金の流れを分かりやすくするために一般会計と区別して法律や条例に基づいて設置します。

会 計 名	決 算 額		事 業 内 容
	歳 入	歳 出	
国 民 健 康 保 険	25億7,286万円	25億7,103万円	国民健康保険加入者が保険税を負担し合い、医療費を賄う相互扶助の制度です。
下 水 道 事 業	5億6,711万円	5億6,695万円	特定環境保全、農業・漁業集落排水の3つの事業により、下水道処理を行っています。
介護サービス事業	9億 278万円	9億 262万円	「老人保健施設」「特別養護老人ホーム」「デイサービスセンター」「訪問看護ステーション」の4事業所がサービスを提供する事業です。
介 護 保 険	8億7,936万円	8億5,747万円	65歳以上の介護が必要な方と40～64歳で特定の疾病により介護が必要と認められた方がサービスを受けられる制度です。
後期高齢者医療	1億2,741万円	1億2,739万円	75歳以上の高齢者等を対象とする、他の健康保険とは独立した医療保険制度です。

企業会計

企業会計は、「独立採算制」を原則とする企業の要素が強い事業を行う場合に法律や条例に基づいて設置します。

会計名	決 算 額			
病 院 事 業	収益的収入	18億4,454万円	収益的支出	19億 30万円
	資本的収入	1億2,078万円	資本的支出	1億7,101万円
水 道 事 業	収益的収入	6億9,806万円	収益的支出	4億6,621万円
	資本的収入	3,455万円	資本的支出	3億5,212万円



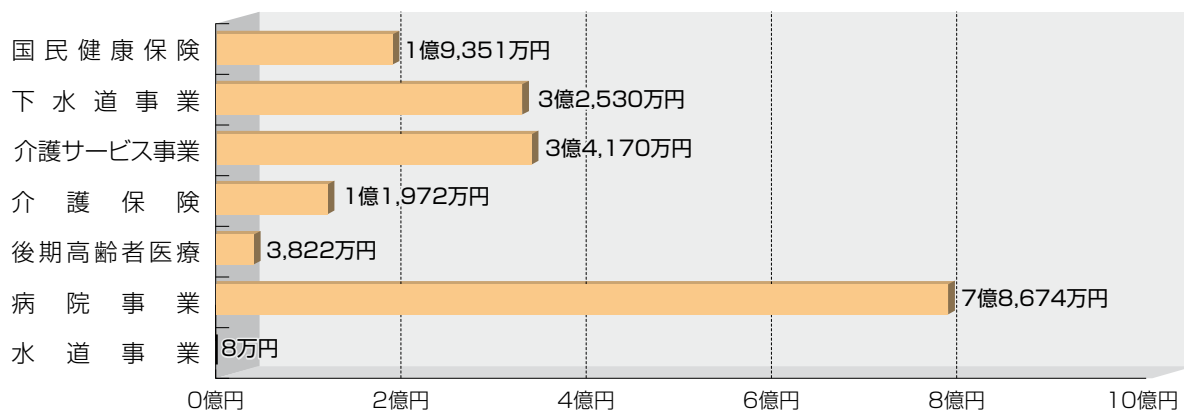
※収益的収入・支出…企業の経常的経営活動に伴う収入と支出

※資本的収入・支出…施設等の建設改良に伴う収入と支出

平成25年度 特別会計、企業会計への繰出額

繰出とは一般会計と各特別会計、企業会計相互間において支出される経費です。

平成25年度の一般会計からの繰出総額は、18億527万円となっています。



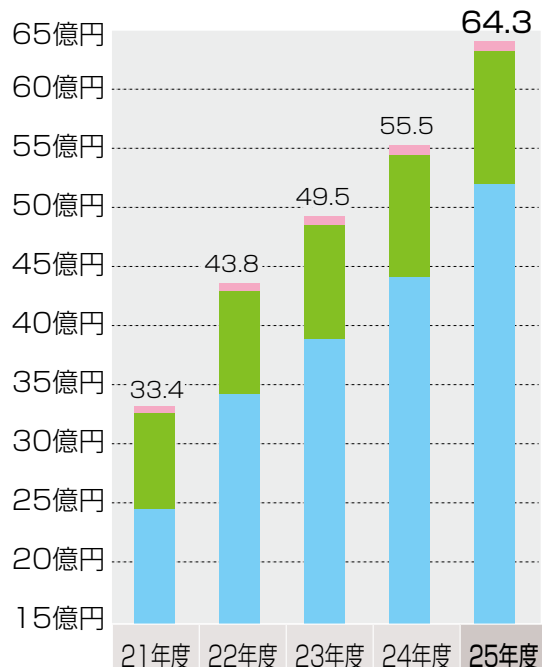
Ⅲ 基金・町債の状況について

平成25年度末における町の預貯金（基金・積立金）の合計額は、64億2,798万円となり前年度と比較し8億7,195万円の増加となっています。

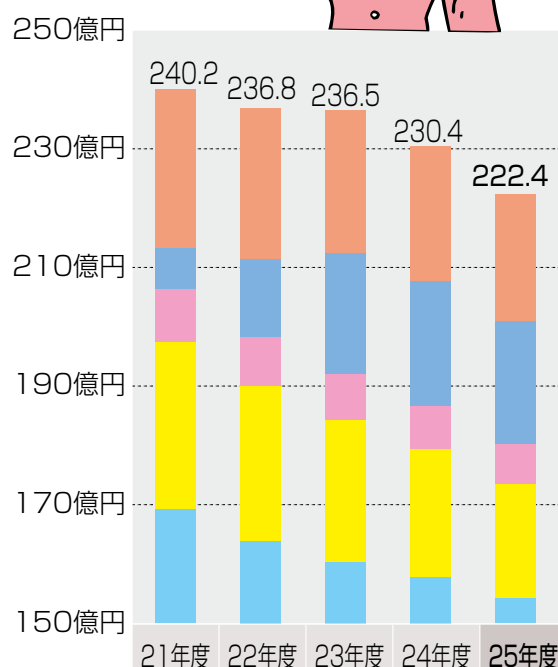
借金（町債）は222億3,832万円となり、前年度と比較し約8億982万円減少しています。



基金の推移



町債現在高の推移



Ⅳ 一時借入金（一般会計）について

一時借入金とは、会計年度中に支払い現金が不足した場合に、その不足を補うために借りるお金です。一時的な資金不足を補うためのお金なのでその年度の出納閉鎖日（5月31日）までに返済することになっています。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
年間借入累計額	17億円	13億円	13億円	14億円	12億円
借入残高最高額	16億円	13億円	13億円	12億円	12億円
借入最高限度額※	40億円	40億円	40億円	40億円	40億円
最高借入時期	3月31日	3月31日	3月31日	3月31日	3月31日
3月31日残額	16億円	13億円	13億円	12億円	12億円
5月31日残額	0	0	0	0	0

※借入最高限度額：地方自治法第235条の3第2項により、予算で定められた借入残高額の最高限度額

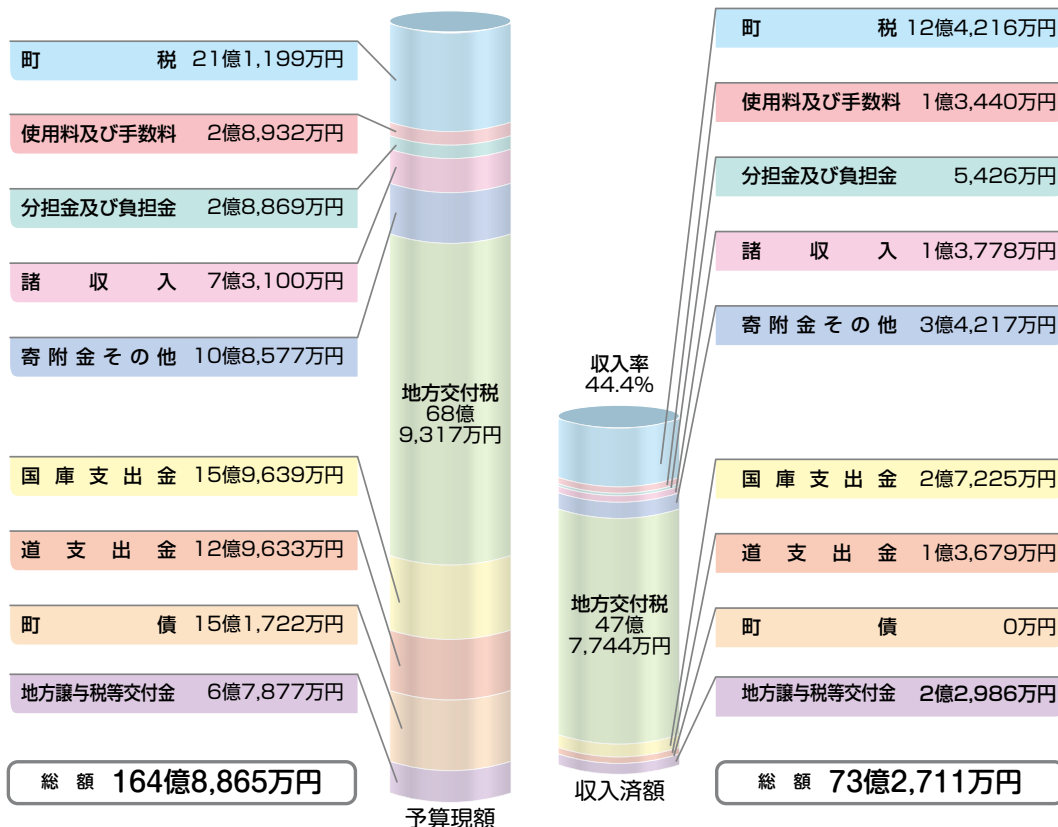
V 平成26年度 上半期の予算執行状況

一般会計の執行状況について

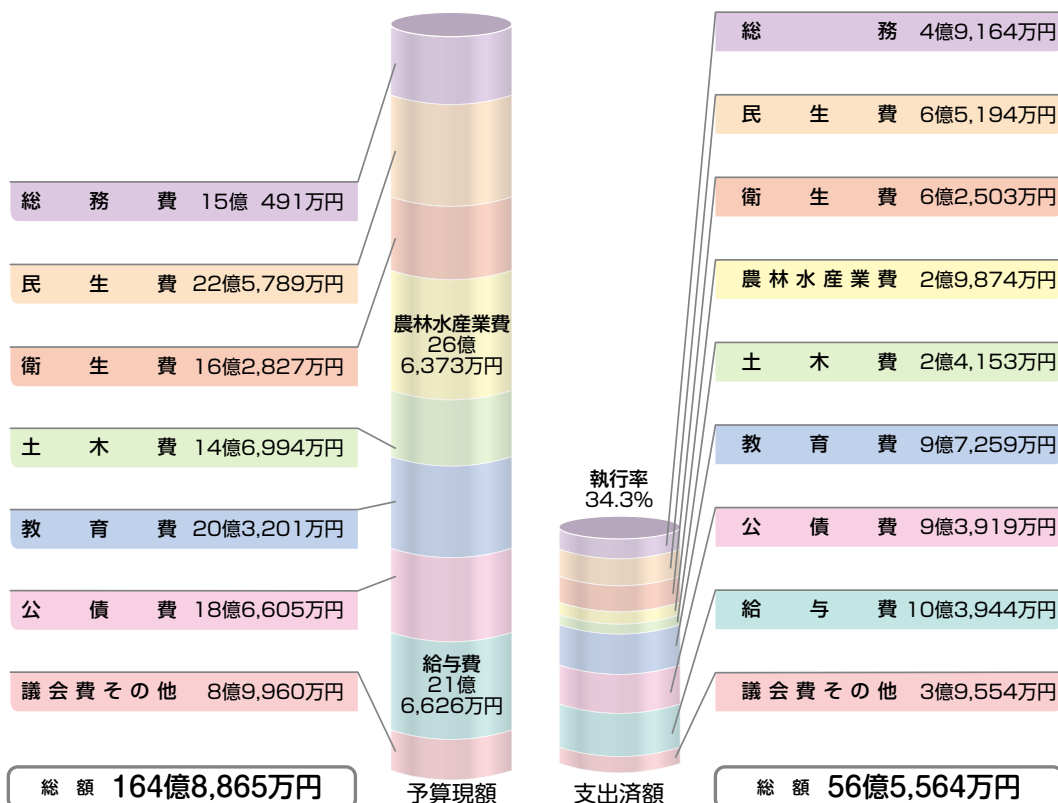
平成26年9月補正後の予算額は、155億5,140万円となり、平成25年度からの繰越額9億3,725万円を加えると、予算総額で164億8,865万円となっています。

平成26年度の主な事業として、消防団拠点施設整備、上西春別中学校防音改築実施設計、災害用備蓄資機材等整備、ケアハウス整備、市街地活性化計画策定、町営野球場整備事業等を実施しています。

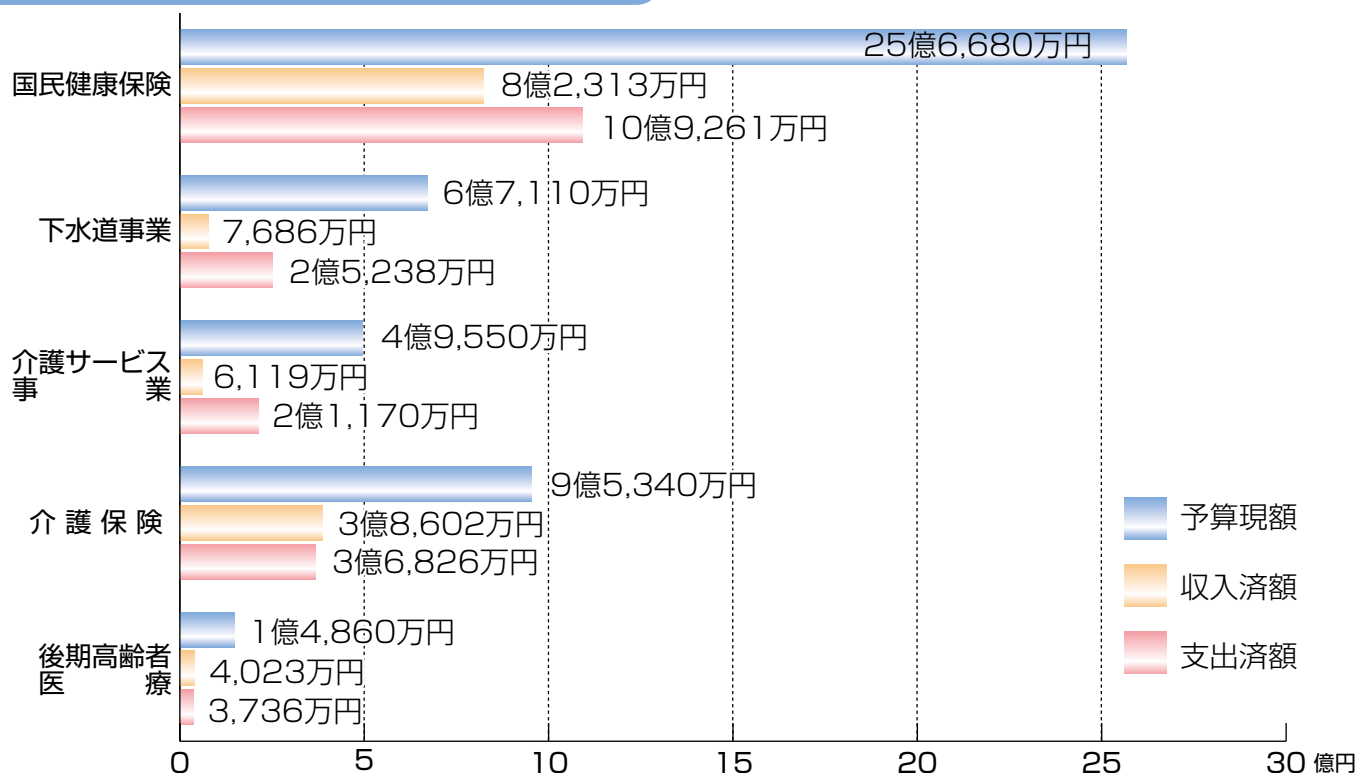
平成26年度
上半期
収入状況
(9月30日現在)



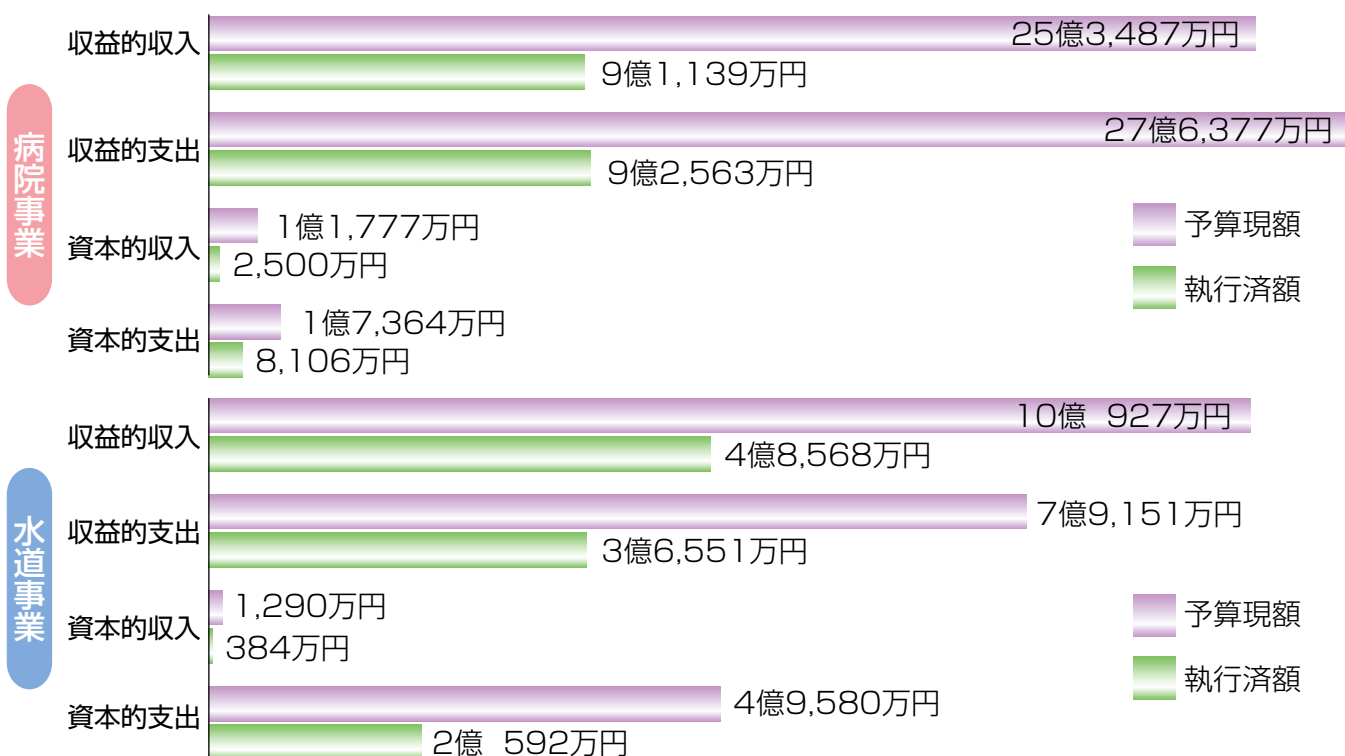
平成26年度
上半期
目的別支出状況
(9月30日現在)



各特別会計上半期予算執行状況



各企業会計上半期予算執行状況



財政状況の詳しい内容は、町のホームページと財政課（本庁舎2階）で公表しています。
 問合せ／財政課 財政経理担当TEL75-2111（内線2311） 別海町ホームページ <http://betsukai.jp/>